

飛驒市景気動向調査結果

平成29年度上半期

(平成29年4月～平成29年9月期分)

平成30年1月

飛驒市役所商工観光部商工課

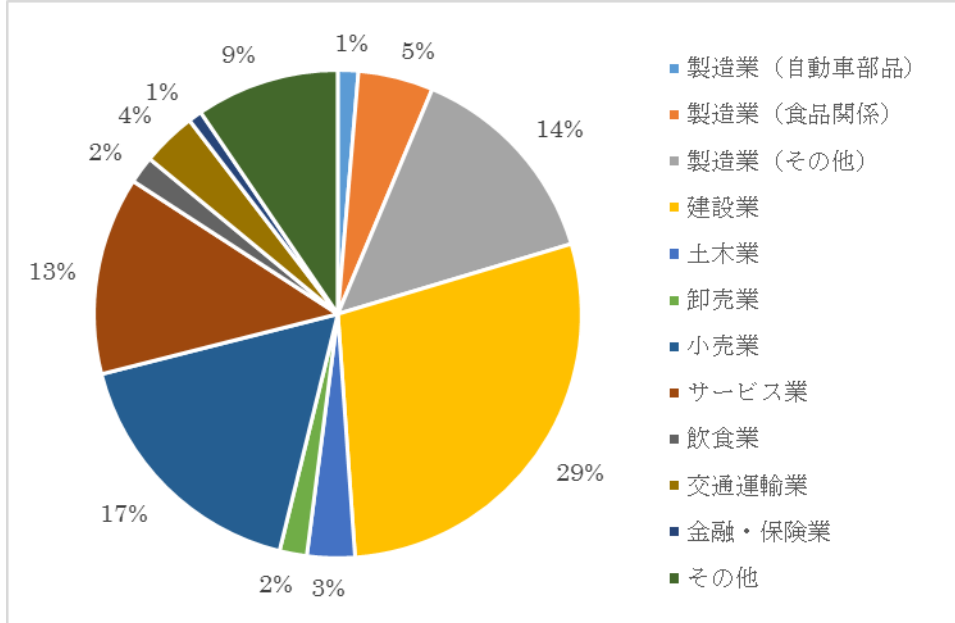
調査概要

1. 調査目的 飛騨市内の各企業等を対象とした景気動向
2. 調査方法 調査対象を事業所統計調査のデータから無作為抽出し、郵送及びFAX利用によって行うアンケート調査
3. 調査対象 市内企業 320社
4. 調査時期 平成29年11月20日～平成29年12月18日
5. 調査対象期間 平成29年 4月～平成29年 9月期実績 (今期)
平成29年10月～平成30年 3月期見通し (来期)
6. 回収状況 依頼数 320社
有効回収数 221社 (有効回収率 69.1%)
業種別内訳

製造業 (自動車部品)	3社	(75.0%)
製造業 (食品関係)	11社	(57.9%)
製造業 (その他)	31社	(91.2%)
建設業	63社	(86.3%)
土木業	7社	(50.0%)
卸売業	4社	(66.7%)
小売業	38社	(63.3%)
サービス業	29社	(59.2%)
飲食業	4社	(50.0%)
交通運輸業	8社	(66.7%)
金融・保険業	2社	(100.0%)
その他	21社	(53.8%)

－ 業 種 別 内 訳 －

製造業（自動車部品）（1%） 製造業（食品関係）（5%） 製造業（その他）（14%）
 建設業（29%） 土木業（3%） 卸売業（2%）
 小売業（17%） サービス業（13%） 飲食業（2%）
 交通運輸業（4%） 金融・保険業（1%） その他（9%）



7. 調査項目

定例項目 ①売上（加工）額 ②採算（経常利益） ③従業員数
 ④資金繰り ⑤製品・商品在庫 ⑥仕入単価
 ⑦設備投資 ⑧設備投資した内容 ⑨総合景況感

8. D I 値

D I（デフュージョンインデックス）は景気動向指数と呼ばれ、売上や採算などといった各項目について総合的に見た景況・不況の判断を示すもの。ゼロを基準とし、プラスの値となれば景気の上向きを表す回答の割合が多いことを示し、逆にマイナスの値となれば景気の下向きを表す回答の割合が多いことを示す。したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気といった景気感の相対的な広がりの意味する。

$$\begin{aligned} \text{売上高DI} &= (\text{増加割合}) - (\text{減少割合}) \\ \text{採算DI} &= (\text{好転割合}) - (\text{悪化割合}) \end{aligned}$$

※DI表内における従業員数のプラスの値は人員過剰を、仕入単価のプラスの値は単価の上昇をあらわします。

調査結果概況

1. 項目別D I

項 目	実績DI H29上期 (H28下期との比較)	見通しDI H29下期 (H29上期との比較)
①売上(加工)額	△10.1	△13.0
②採算(経常利益)	△16.3	△19.9
③従業員数	△44.8	△47.2
④資金繰り	△14.0	△16.9
⑤製品・商品在庫	△5.8	△6.6
⑥仕入単価	41.6	44.3
⑨総合景況感	△26.0	△25.6

2. 業種毎の項目別D I

1) 製造業(自動車部品)

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	0	33.3
②採算(経常利益)	0	0
③従業員数	△33.3	△33.4
④資金繰り	0	0
⑤製品・商品在庫	33.3	33.3
⑥仕入単価	33.3	100.0
⑨総合景況感	0	33.3

2) 製造業(食品関係)

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	36.4	0
②採算(経常利益)	27.3	18.2
③従業員数	△54.5	△54.6
④資金繰り	△18.2	△18.2
⑤製品・商品在庫	10.0	10.0
⑥仕入単価	70.0	60.0
⑨総合景況感	△9.1	0

3) 製造業 (その他)

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	6.5	6.5
②採算(経常利益)	0.1	0
③従業員数	△45.2	△45.2
④資金繰り	6.5	3.2
⑤製品・商品在庫	6.5	△3.2
⑥仕入単価	32.3	35.5
⑨総合景況感	△3.2	△6.5

4) 建設業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	△9.7	△22.6
②採算(経常利益)	△14.8	△25.8
③従業員数	△57.4	△57.3
④資金繰り	△3.2	△12.9
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	55.7	59.1
⑨総合景況感	△24.2	△21.0

5) 土木業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	△42.9	△28.6
②採算(経常利益)	△28.6	△57.1
③従業員数	△42.9	△28.6
④資金繰り	14.3	△14.3
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	66.7	50.0
⑨総合景況感	△33.3	△50.0

6) 卸売業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	△25.0	33.3
②採算(経常利益)	△50.0	0
③従業員数	△50.0	0
④資金繰り	△25.0	0
⑤製品・商品在庫	△25.0	0
⑥仕入単価	25.0	33.3
⑨総合景況感	△25.0	0

7) 小売業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	△28.9	△15.8
②採算(経常利益)	△31.6	△29.0
③従業員数	△22.2	△27.8
④資金繰り	△38.9	△34.2
⑤製品・商品在庫	△22.3	△13.9
⑥仕入単価	28.9	39.4
⑨総合景況感	△44.7	△47.4

8) サービス業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	△21.4	△17.8
②採算(経常利益)	△17.9	△28.6
③従業員数	△57.2	△64.3
④資金繰り	△25.0	△25.0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	30.4	41.7
⑨総合景況感	△35.7	△35.7

9) 飲食業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	33.3	△50.0
②採算(経常利益)	0	△50.0
③従業員数	△66.7	△50.0
④資金繰り	△66.6	△50.0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	100	25
⑨総合景況感	△66.6	△75.0

10) 交通運輸業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	△12.5	△12.5
②採算(経常利益)	△50.0	△12.5
③従業員数	△37.5	△25.0
④資金繰り	△25.0	△25.0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価	42.9	42.9
⑨総合景況感	△50.0	△12.5

11) 金融・保険業

項 目	実績DI(H29 上期)	見通しDI(H29 下期)
①売上(加工)額	△100.0	0
②採算(経常利益)	△100.0	0
③従業員数	50	0
④資金繰り	0	0
⑤製品・商品在庫		
⑥仕入単価		
⑨総合景況感	△100.0	0

景気動向調査結果業種別集計表

平成29年4月～平成29年9月期
(%)

項目	比較区分	状況	産業全体	製造業	製造業	製造業	建設業	土木業	卸売業	小売業	サービス業	飲食業	交通運輸業	金融・保険業
				(自動車部品)	(食品関係)	(その他)								
(加工)売上額	(今期)前期と比べて	増加	5.1	33.3	27.3	6.5	3.2	0.0	0.0	5.3	3.6	0.0	0.0	0.0
		やや増加	21.7	0.0	36.4	25.8	21.0	14.3	25.0	21.1	7.1	66.7	25.0	0.0
		横ばい	36.3	33.4	9.0	41.9	41.9	28.6	25.0	18.4	57.2	0.0	37.5	0.0
		やや減少	20.3	33.3	9.1	16.1	14.5	57.1	25.0	26.3	21.4	0.0	12.5	100.0
		減少	16.6	0.0	18.2	9.7	19.4	0.0	25.0	28.9	10.7	33.3	25.0	0.0
(経常利益)	(今期)前期と比べて	好転	2.3	0.0	18.2	3.2	1.6	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや好転	19.1	33.3	27.3	22.6	19.7	14.3	0.0	15.8	14.3	33.3	12.5	0.0
		横ばい	40.9	33.4	36.3	48.3	42.6	42.8	50.0	31.6	53.6	33.4	25.0	0.0
		やや悪化	27.0	0.0	9.1	19.4	24.6	42.9	50.0	28.9	25.0	0.0	50.0	100.0
		悪化	10.7	33.3	9.1	6.5	11.5	0.0	0.0	21.1	7.1	33.3	12.5	0.0
(臨時・パートを含む)従業員数	(今期)前期水準	過剰	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや過剰	4.2	33.3	9.1	3.2	1.6	0.0	50.0	5.6	0.0	0.0	0.0	50.0
		適正	46.8	0.0	27.3	48.4	39.3	57.1	50.0	66.6	42.8	33.3	62.5	50.0
		やや不足	36.4	33.3	63.6	35.5	44.3	28.6	0.0	27.8	39.3	0.0	12.5	0.0
		不足	12.6	33.3	0.0	12.9	14.8	14.3	0.0	0.0	17.9	66.7	25.0	0.0
資金繰り	(今期)前期と比べて	好転	2.3	0.0	9.1	9.7	1.6	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや好転	9.8	33.3	9.1	12.9	16.1	14.3	0.0	5.6	7.1	0.0	0.0	0.0
		横ばい	61.7	33.3	45.4	61.3	61.4	85.7	75.0	50.0	60.8	33.4	75.0	100.0
		やや悪化	18.7	0.0	18.2	16.1	16.1	0.0	25.0	33.3	21.4	33.3	12.5	0.0
		悪化	7.5	33.3	18.2	0.0	4.8	0.0	0.0	11.1	10.7	33.3	12.5	0.0
商品在庫・製品	(今期)前期と比べて	増加	1.4	0.0	10.0	3.2			0.0	0.0				
		やや増加	9.3	33.3	20.0	6.5			0.0	11.1				
		横ばい	72.8	66.7	50.0	87.1			75.0	55.5				
		やや減少	12.9	0.0	20.0	3.2			25.0	27.8				
		減少	3.6	0.0	0.0	0.0			0.0	5.6				
仕入単価	(今期)前期と比べて	上昇	7.9	0.0	10.0	3.2	8.2	16.7	0.0	5.3	13.0	66.7	14.3	
		やや上昇	37.1	33.3	60.0	35.5	49.2	50.0	25.0	28.9	21.7	33.3	28.6	
		横ばい	51.5	66.7	30.0	54.8	41.0	33.3	75.0	60.5	61.0	0.0	57.1	
		やや減少	2.5	0.0	0.0	6.5	0.0	0.0	0.0	5.3	0.0	0.0	0.0	
		減少	1.0	0.0	0.0	0.0	1.6	0.0	0.0	0.0	4.3	0.0	0.0	
投設備	(今期)今期実績	実施した	35.5	66.7	63.6	51.6	32.3	66.7	0.0	23.7	25.0	66.7	28.6	0.0
		実施しなかった	64.5	33.3	36.4	48.4	67.7	33.3	100.0	76.3	75.0	33.3	71.4	100.0
総合景況感	(今期)前期と比べて	好転	1.4	0.0	18.2	0.0	0.0	0.0	0.0	2.6	0.0	0.0	0.0	0.0
		やや好転	13.0	33.3	9.1	22.6	9.7	0.0	0.0	15.8	3.6	0.0	12.5	0.0
		横ばい	45.1	33.4	36.3	51.6	56.4	66.7	75.0	18.5	57.1	33.4	25.0	0.0
		やや悪化	29.8	33.3	27.3	22.6	27.4	33.3	25.0	36.8	25.0	33.3	50.0	50.0
		悪化	10.7	0.0	9.1	3.2	6.5	0.0	0.0	26.3	14.3	33.3	12.5	50.0

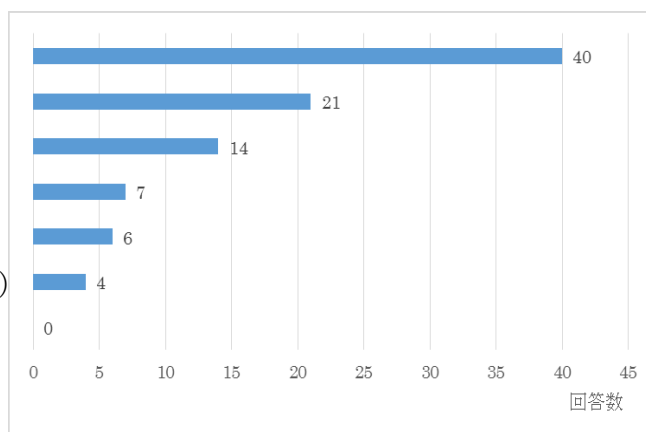
3. 設備投資実施状況

業種別	平成29年度上期実績			平成29年度下期見通し		
	行った	行わなかった	行った割合	行う	行わない	行う割合
全体	76	138	35.5%	58	155	27.2%
製造業(自動車部品)	2	1	66.7%	2	1	66.7%
製造業(食品関係)	7	4	63.6%	4	7	36.4%
製造業(その他)	16	15	51.6%	18	13	58.1%
建設業	20	42	32.3%	13	49	21%
土木業	4	2	66.7%	4	2	66.7%
卸売業	0	4	0%	0	3	0%
小売業	9	29	23.7%	6	31	16.2%
サービス業	7	21	25.0%	2	26	7.1%
飲食業	2	1	66.7%	2	2	50%
交通運輸業	2	5	28.6%	4	3	57.1%
金融・保険業	0	2	0%	0	2	0%

内訳

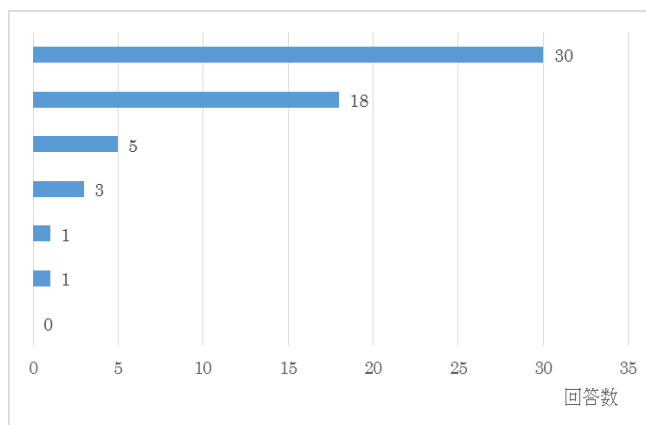
<平成29年上期実績>

- 1位 補修・更新
- 2位 生産能力拡大
- 3位 合理化・省力化
- 4位 経営多角化
- 5位 省エネ
- 6位 その他(車両購入、店舗移転)
- 7位 事業転換



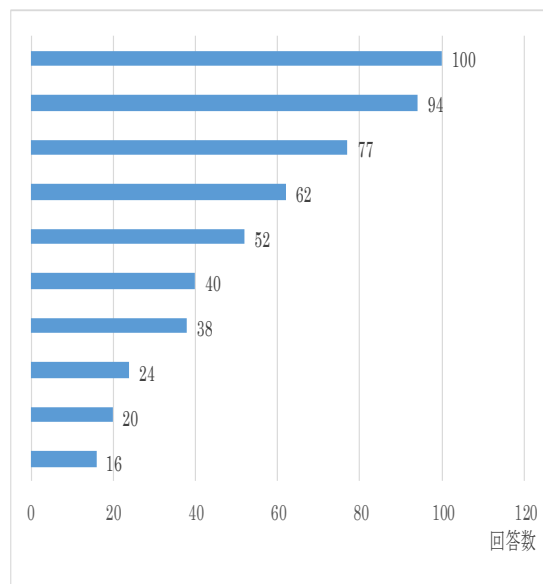
<平成29年下期見通し>

- 1位 補修・更新
- 2位 生産能力拡大
- 3位 合理化・省力化
- 4位 経営多角化
- 5位 事業転換
- 6位 省エネ
- 7位 その他



4. 経営上の問題点

- 1位 従業員の確保難
- 2位 需要の停滞・減少
- 3位 設備の老朽化
- 4位 商品・原材料の仕入単価の上昇・調達難
- 5位 人件費の上昇
- 5位 後継者問題
- 7位 販売価格（受注価格）の低下
- 8位 大企業（大型店）の進出による競争激化
- 9位 情報化への対応の遅れ
- 10位 新規参入業者の増加



5. 総評

前回の調査同様、全事業者における実績 DI の値は仕入単価を除き全てマイナスの値となりました。これは、前回の調査後からもさらに悪化した、減少したと感じる事業者が多くあったということです。しかし、業種別にみると各種製造業においては好調な事業者が多く、採算性（経常利益）も前回調査時よりプラスに転じている事業者が多いことが分かります。一方で、建設業や土木業、小売業等においては DI 値が軒並みマイナスの値を示しており、依然業況は厳しいことが読み取れます。

設備投資の実施状況については、実施企業数はほぼ同数であり、実施内訳も前回とほぼ同じ回答となりました。店舗等の補修・機械等の更新が依然多いことから、新たな事業展開を視野に入れた設備投資ではなく、現状維持を続ける上での必要投資を行っている事業者が多いことが読み取れます。

経営上の問題点については、従業員の確保難という回答が前回の需要の停滞・減少を上回りトップとなりました。ハローワークより発行されている統計資料でもここ1年間の平均求人倍率は概ね 1.45% となり、慢性的な人材不足となっていることが読み取れます。また、業種別 DI においても、ほとんどの業種で従業員不足となっていることから、労働力の確保は喫緊の課題となっています。

本調査においては、半年毎の実施となることから上期の調査と下期の調査では季節等の影響等から直接的な比較は出来ませんが、市内全体の景況感は依然回復の兆しを見せていないのが現状です。売上の確保に加え、人材の確保、老朽化した設備への投資等事業者にとっては依然厳しい状況が続く中で、いかにして生き残りをかけていくかの選択が企業に迫られています。